

## 第 15 回ヒューマニティ関連教科担当教員会議 議事録

日時：2021 年 3 月 16 日（火）13:00～17:00

場所：WEB 会議

出席者：60 大学 74 名（世話人含む）

配布物：プログラム

（資料 1）出席者一覧、各 SGD の結果、全体会の報告、事後アンケート結果、（資料 2）事前アンケート結果

（総合司会：金城学院大学 大嶋耐之）

### 1. 報告事項

#### （1）ヒューマニティ関連教科担当教員会議報告（資料 1）

2021 年 3 月 16 日の午後、オンラインにて 74 名（世話人 7 名を含む）が参加して教員会議を開催した。テーマは「新しい時代のヒューマニティ教育」とし、SGD では 3 つのアウトカムを用意し、新型コロナウイルスの影響により、従来のような形態で授業を行えなかった中で、各位がどのように創意工夫して授業を進めたかを情報共有した。そして、各大学の創意工夫を知るとともに、来年トライしてみたいことを得る場とした。事後アンケートから定例会議をワークショップ形式で実施したことは概ね好評であった。

#### （2）事前アンケート集計結果（資料 2）

2021 年 2 月に依頼したアンケートの結果概要が報告された。今回のアンケートは、本教員会議の構成メンバーが新型コロナウイルスの影響により、各大学がどのように創意工夫して授業を進めたかについて把握し、本教員会議のテーマにつなげることを目的とし、122 名の構成メンバーのうち 101 名から回答があった。担当分野は、倫理、心理、コミュニケーション、行動科学、事前学習実務実習講義など多岐にわたり、講義形式が 54.5% でつづいて実習 25.7%、演習 19.8% であった。今年度行った授業形式は、対面が 2% に対し、WEB 上が 98% であった。また、使用ツールも大学によって様々で、オンラインの多様性が示された。一般記述では、工夫した点、苦勞した点、評価方法など各教員がこのコロナの影響により、いかに対策に苦慮したのかがうかがえた。この影響は来年度も続くものもあり、本教員会議で情報共有したことは有意義なものとなった。

### 2. 連絡事項

#### （1）次年度予定

次年度定教員会議は、薬学会開催日程付近で開催予定（実施方法は未定）とした。また、ワークショップ等については、新型コロナウイルス感染拡大状況やオリンピック開催状況等を踏まえ実施の可否や方法について継続検討中とした。

#### （2）世話人交代について

2020 年度をもって 1 名の世話人が交代することとなり、現委員長から新任の世話人が紹介された。  
北海道・東北地区 野呂瀬崇彦（北海道科学大） → 小嶋文良（東北医科薬科大）

以上